

## 電気自動車への期待と課題 低炭素社会におけるアジアとの共生

1. 教員：久留島 守広
2. テーマ：電気自動車への期待と課題 ー低炭素社会におけるアジアとの共生ー
3. 場所：福岡
4. 期間：9月28日～9月30日
5. 参加学生：8名（院生3名、ゼミ3年生6名）
6. 費用：約40,000円（往復航空運賃、ホテル、移動費）
7. 活動報告
  - (1) セミナー概要
    - ①主催：国公立大コンソーシアム・福岡  
（福岡工業大学、九州大学、福岡女子大学、西南学院大学）
    - ②開催場所：アクロス福岡
    - ③開催日時：2009年9月30日（水）
    - ④参加者：大学・地方公務員・会社役職員・市民など約280名
  - (2) 九州経済産業局 訪問
  - (3) 九州電力・総合研究所 訪問  
野口所長による説明と、施設の見学、電気自動車の試乗を体験。
  - (4) 九州大学との交流
8. スケジュール概要
  - 9月28日 午前到着 九州経産局：管内経済・産業の概況につきブリーフィング
  - 29日 九州電力及び九州大学・研究施設見学、交流会実施（写真：以下）
  - 30日 電気自動車市民セミナーへの参加



<電気自動車への期待と課題 - 地球環境時代の自動車と福岡 - >

国際地域学科3年 田原 春香・松澤 恵理子

【九州経済産業局】

私達はゼミ研修初日に、経済産業局を訪問、岩切部長に「九州ではアジアとの経済・文化交流が活発に行われている。九州の経済は『一割経済』と言われていて、面積・人口・輸出額・自動車生産台数において全国の約10%を占めている。」など、同地のエネルギー・経済などの説明を受け、このことから、九州の果たす役割は大きいことが理解できた。

その後、ホテルへチェックインし、先生の生れ育った「新天町商店街」に向かった。先生の友人、元日大・アメリカンフットボール・キャプテンで米国留学経験もあるイケメン五郎さんが経営の「もつ鍋五郎」で、博多の歴史をお聞きし美味しく鍋とお酒を頂いた。

【九州電力・総合研究所】

ゼミ研修2日目には、九州電力を訪問し総合研究所・野口所長に「電気の安定供給の重要性や環境への取組み」についてお話を伺った。同総合研究所は、電力の安定供給及びコスト低減など『電力固有技術の維持向上』に関する研究開発に重点的に取り組むとともに、環境保全や新エネルギーなど『時代のニーズを先取りした新技術』に関する研究開発に取り組んでいた。

次に私達は、電気自動車「iMiEV(アイミーブ)」に試乗した。乗ってみてまず、驚いたのはエンジン音がほとんどしなく乗り心地は抜群だった。

【九州大学・核融合研究所/工学研究院】

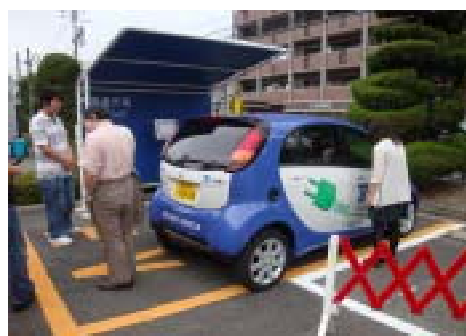
さらに、私達は九州大学院・筑紫キャンパスに向かった。まず、体育館1個分の広さがある核融合実験施設(球状トカマク)に案内され、核融合プラズマに関する説明を聞いた。

次に、九州大学・工学研究院院生による「電気自動車の利便性」「リチウムイオン電池」などの発表を聞き、電気自動車の可能性と課題など意見交換をした。理工学分野院生との交流は、普段関わることの無かった専門分野だったため、刺激的であり新鮮に感じた。

【福岡・電気自動車セミナー】



(福岡・電気自動車セミナー)



(九電総合研究所・電気自動車)

ゼミ研修3日目に、久留島教授も講演する市民公開講座に参加した。各界の専門家が、福岡における電気自動車導入への期待と課題について市民・学生へ向け講演、その後市民が専門家に積極的に質問するなど、電気自動車への市民の関心の高まりが理解できた。